

令和 2 年大磯町議会

9 月定例会一般質問（9 月 10 日・11 日）

質問議員	質 問 事 項（ 1 日 目 ）	答弁者
1 11 番 吉川 重雄議員 （ 80 分 ） 9：05 ～ 10:25	1. 法を守れぬ町政に明日を託せるか 町にとって、財政の健全化を進めることは必要不可欠であり、なかでも歳入の根幹を占める税務行政は重要な役割を持っている。それ故、行政が行う税務行政については、法令等を遵守しながら「公平」・「公正」を持って行われることが強く求められている。 3 月定例会と 6 月定例会の一般質問で、具体的問題を問うて来たが、町から明確な答弁はなされなかった。 その対応に、これから町の将来を任せることができるのか。法を守れぬ町政に明日を託せるのかと大きな疑念をいだかざるをえない。 再度問う。 （1）こゆるぎハイツのプロパン庫の長期間の課税漏れの問題、また、類似事例への調査、検証はどうなったのか。 さらに住民から出た裁判の判決を新聞報道で知ったが、この新聞記事の報道内容は、長期の課税漏れは「違法」と示されている。 町は、この判決を受けて何を学んだのかを問う。 （2）東海大学大磯病院敷地として、学校法人東海大学より町長に対し、固定資産税非課税申告書が平成 25 年 12 月 24 日に提出されてから以後に課税漏れがあった問題について、政策総務部長は「手続上の誤り」として答弁したが、町長も同じ認識であるのかを問う。また、オンブズマン大磯が疑問と述べている大磯病院の駐車場として使用されている土地について、課税されているところは山林として課税されているのか否かの答弁を求める。この大磯病院の一部施設課税漏れの処置について、地方公務員法の第 30 条、32 条、33 条、35 条に掲げられている内容に抵触していないのか。今回の課税漏れは誠実に公務が遂行されたのか大きな疑問を感じざるをえないが、町長の見解を問う。	町 長
2 12 番 飯田 修司議員 （ 80 分 ） 10:40 ～ 12:00	1. 小・中学校のエアコン設置におけるリース契約を再度問う （1）「神奈川県内の市町の動向はどうか」の質問に無回答であった為、再度問う。 （2）買い取りとすべきをリース契約をとった理由を問う。 （3）部長の前の答弁の中に「飯田議員の方に認識の誤りがあるのでは」の答弁があったが、何が私の誤りかを述べよ。 2. 旧吉田茂邸の構造の欠陥をいつまで放置するのか 昨年 9 月の一般質問で旧吉田茂邸の 2 F の管柱の 10 本程度にもおよぶ取替えを指摘した。 その後、神奈川県、建築設計事務所、建設会社を現場に立合せ、実証しようと言請したが一向に話がない。 町職員は危険な状態を指摘されながら一般公開している責任をどうす	町 長 教育長 町 長 教育長

	るつもりなのか。 3. 駅前広場計画について問う 昨年9月の町民説明会以降、何も進捗状況がみられないが、どうなったのか。令和元年度の委託業務は今月で期限を迎えるのに議会に何の説明もない。町民説明会を開催し、意見を聞いた後に最終図面を発表する予定ではなかったのか。 駅前整備の為、後回しにしていた県道・町道の整備に切り替えて町民の願いに答えるべきではないか。 4. 中学校給食施設建設計画は 中学校給食が一向に前に進んでいない。 今後の大磯町の小・中学校の校舎建て替えの計画を示し、建設敷地に余裕のある大磯中学校・国府小学校に給食棟を集中する考えはないか。	町 長 町 長 教育長
3 3 番 竹内恵美子議員 (55 分) 13:00 ~ 13:55	1. 「大磯らしい潤いづくり事業」への取り組みについて 大磯町では、平成25年に神奈川県から「新たな観光の核づくり事業」の認定を受けその取り組みを進めてきたが、今年度に最終年度を迎えることから、新たな取り組みとして、7月31日に報道があり「大磯らしい潤いづくり協議会」の立ち上げや、民間事業者との協定書の締結などを行ったとのことである。 そこで、今後の取り組みの方向性や目指すべき観光事業への取り組みなどを伺う。 (1) 「新たな観光の核づくり事業」の総括から、どのようにして「大磯らしい潤いづくり事業」へと取り組みを転換したのか。 (2) 「大磯らしい潤いづくり協議会」の設立目的や目指すべき目標など、協議会が果たす役割とは。 (3) 協定を締結した民間事業者が果たす役割とは。 2. 学校給食費の公会計化について 文部科学省は昨年7月、「学校給食費等の徴収に関する公会計化等の推進について」という通達を全国の教育委員会に発出し、「学校給食費徴収・管理に関するガイドライン」を示した中で、給食費の未納を減らすためにコンビニエンスストアでの納付など、学校の負担軽減を図る取り組みの推進を通知した。 また、中央教育審議会においては、昨年1月「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について」の答申を行い、学校給食費などの学校徴集金については、基本的には学校の本来的な業務ではなく、「学校以外が担うべき業務」であり、地方公共団体が担っていくべきであるとしたところである。 大磯町議会でも、令和2年7月8日の第2回臨時議会において、新型コロナウイルス感染症対策の一環で上程された小学校給食費無償化補助金の中で、公会計化についても活発な議論が行われたと記憶している。	町 長 町 長 教育長

	このようなことから、教職員の業務負担の軽減、保護者の利便性の向上、徴収管理業務の効率化などが見込まれる学校給食費の公会計化に向けての取り組みについて伺う。 (1) 学校給食費の徴収・管理業務の現状はどのようなか。 (2) 学校給食費の公会計化へ向けた今後の検討状況はどのようなか。	
4 9 番 二宮加寿子議員 (55 分) 14:15 ~ 15:10	1. 新しい生活様式に向けた施策について 新型コロナウイルス感染症の拡大によって、密を防ぐ「新しい生活様式」を築くため、様々な経済活動が動き出している。今後「新しい生活様式」を定着させるための町の施策を推進し、地域の自律的な社会を構築していく事が必要と考える。 (1) 文化芸術、図書館、公共施設などの人が集まる空間で「密」を可視化するためのオンライン情報やアプリなどの予約システムの確立。プッシュ型の情報発信などが「安心」を担保すると考える。また、文化芸術・スポーツの活動、その他継続に向けた支援の現在の取り組みの状況、今後の見通しについて伺う。 (2) これまでの地域コミュニティを中心に見守りや支え合いの福祉社会を築いてきたが、次世代の予防や事後対応として、オンラインツールの活用も重要で個人の健康データ、健康寿命の延伸につなげていくことが必要と考える。課題など、どう取り組まれるか伺う。 2. コロナ禍における避難所運営のあり方について 近年、地震や水害など想定を超える自然災害が発生し、日常化している。こうした災害に対して避難所を開設する場合、新型コロナウイルス感染症の影響が広がる状況を踏まえ、通常の災害発生時よりも可能な限り、多くの避難所の開設を図る必要があると考える。 (1) 高齢者や基礎疾患のある方、障がい者、妊産婦など避難所受け入れの優先順位の考え方。 (2) 「分散避難」の周知と定着について。 (3) 避難所の感染症対策や女性の視点について。 (4) 発熱、咳等の症状が出た避難者の病院移送や専用スペースの確保、専用のトイレ等の課題にどう取り組まれるか見解を聞きたい。	町 長 教育長 町 長
5 7 番 鈴木たまよ議員 (55 分) 15:30 ~ 16:25	1. 今後の多様化する働き方・暮らし方に対する町の展望について 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、リモートワークという新しい働き方が急速に普及しつつある。それに伴い、今後は出社回数を減らし、余暇を趣味などに充てながら暮らす方や、ワーケーションといった、休暇を取りながらリモートで仕事をする方が増えると考えられる。 そのような働き方・暮らし方の変化に対する町の展望とその対策を問う。 2. 自然災害等に対する町の災害対策・防災について 間も無く本格的な台風シーズンを迎えるが、気候変動の影響や森林破壊等により、勢力を弱めることなく大きな被害をもたらす台風が近年頻発し	町 長 町 長

	ている。 今年は新型コロナウイルスの影響もあり、災害時における避難についても、これまでとは異なる対応が必要になる。 災害時における様々な場面における町の対応と、大きな災害に繋がらないための町の取り組みについて問う。	
6 5 番 清田 文雄議員 (60 分) 16:45 ~ 17:45	1. 明治記念大磯邸園の整備状況について問う 明治記念大磯邸園については、旧大隈邸・陸奥邸や滄浪閣前の整備工事が行われ、また、滄浪閣のバンケットホール解体工事が始まるとのこととで、順調に整備事業が進んでいるものと思うが、今夏の第1期開園が秋に変更になり、事業全体に遅れなど生じていないか。順延された秋の第1期開園の具体的な開園時期を含め、事業全体の進捗及び今後の事業計画などについて伺う。 2. ハザードマップにおける危険地域の対策は 今年も異常気象により梅雨前線を刺激し、各地に大雨を降らせ洪水被害が発生し、多くの尊い犠牲者も出た。これから本格的な台風シーズンになり、昨年 の 15・19 号のような台風の襲来やそれに伴う豪雨災害が危惧される。防災の専門家の話では、各自治体で作成している防災ハザードマップについては、最近非常にその信頼性が高く、今回被災された地区や河川の氾濫した区域は、残念ながら、そのハザードマップにおいて危険とされた地域が多かったとのことである。特に河川の合流地点がもっとも危険であるといわれている。当町においても、土砂災害ハザードマップに指摘されている以下の地点の防災対策・整備状況について質問する。 (1) 県の管理であるが、葛川の河口閉塞による浸水の可能性と不動川との合流地点の整備は。 (2) 金目川・三沢川合流地点の整備は。 (3) 他に土砂災害危険地域はあるが、崩落事故のあった県道 610 号大磯停車場線の拡幅を含めた本格的な崩落防止対策は。	町 長 町 長
7 8 番 奥津 勝子議員 (45 分) 18:05 ~ 18:50	1. 街区公園等の整備について 今、子ども達の外での遊び、高齢者の方々の利用する場所として街区公園への更なる整備が必要と考える。そこで伺う。 (1) 公園の利用の仕方について。 (2) トイレの整備は。 (3) 花壇への配慮は。	町 長

質問議員	質 問 事 項 (2 日 目)	答弁者
8 2 番 石川 則男議員 (80 分) 9:00 ~ 10:20	1. 町民のささやかな要望にどう応えるか (1) 東町3丁目バス停と同じ国道134号線平塚寄り500mほどの距離において、今年6月5日事故があった。20cmの縁石を越え、フェンスを突き破り、5.5m下の三沢川に突っ込んだという考えられないような自動車事故であった。心配された方が相談に見えられた。町民はいつまで不安なままバスを待たなければならないのか。 (2) なかよし公園のトイレを洋式にしてほしいと区長連名で本年3月に要望書が出されたが、検討状況を聞きたい。便器シェアNO.1のTOTOのデータでは2015年既に洋式トイレの出荷数は99%を超えている。なかよし公園を利用している子供たちを見ると洋式トイレを日常的に利用している世代であり洋式トイレに変えてほしいとの要望は無理からぬものとする。要望書のように洋式トイレにするためにいくらかかるのか。池田公園のトイレにいくらかかったのか。 (3) ふれあい会館の和式トイレを洋式にしてほしいとの話があった。利用者の年齢層からするとひざや腰に負担の少ない洋式トイレに替えてほしいとの要望は無理からぬものとする。6月議会答弁では「早期に替えられるものについては洋式便座への改修を今後も進めていきたいというふうに考えてございます。」との答弁があったが、早期に替えられるものはいくつあったか。その費用は概算いくらかかるのか。早期に替えられない物の理由は何でそれを変えるためには概算いくらかかるのか。	町 長
	2. 消防団12個分団の存在価値を問う (1) 全国各地で今まで経験したことのない豪雨被害が起きている。災害時に消防団12個分団は町民にとって大きな手助けになると思うが、大磯町として消防団12個分団の重要性をどう考えているか。 (2) 6月の一般質問の答弁で町民や町内会から名目は多岐にわたるが消防団12個分団への助成金や寄附金を調査するとのことであったが、調査結果を聞きたい。 (3) 6月の一般質問の答弁において消防団12個分団が町民や町内会から慰労などの趣旨で寄附を受け取ることは違法となる余地があるとのことであったが、大磯町としてどう指導するのか。 (4) 町民や町内会が出していた慰労金や寄附金を廃止する代わりにそれに相当する経費を、今後は町が負担すべきと考えるが町の考えを聞きたい。	町 長
	3. 金目川の堤防工事及び合流する三沢川の水門について 昨年の台風19号による河川の氾濫、今年の熊本県南部豪雨による河川の決壊や最上川の氾濫等異常な降水量が記録されている。その結果、今まで経験したことのない豪雨被害が起きている。そこで以下の3点について質問する。 (1) 金目川が氾濫した場合、大磯町のハザードマップでは概算何件の住宅が浸水被害を受けるのか。	町 長

	の整合性及び方向性について以下の５点を問う。 (１) 基本方針等において「長寿命化」と「床面積の縮減」が方針として掲げられているが、現在町が進めようとしている庁舎と保健センターの建て替えはこれらの方針との整合性をどう考えるか。 (２) 仮に本庁舎を長寿命化した場合に係る費用はいくらか。 (３) 教育施設の老朽化について現場から様々な声が上がっている。基本方針では多機能化や統廃合も検討するとあるが、今後どのように進めるのか。 (４) 中学校給食施設についても、小学校給食施設の現状も踏まえ、将来を見据えて総合的に考えるべきだが、公共施設再編のなかにどう位置づけるか。 (５) 町が所管する地域集会施設については自治会への移管や統廃合を検討するとなっているが、進捗は。	
10 13 番 玉虫志保実議員 (30 分) 13:00 ～ 13:30	1. 町職員の労働環境について 平成 29 年の 12 月定例会で「本庁舎 1 階の空間利用等から見える大磯町の行政運営について」質問をした。その際にブラインドや天井のファンの清掃、職員の寒さ対策など、職員の健康面に対する対策について質問した。2 年半過ぎたが、ブラインドやファンが掃除されたとは思えない。そこで、職員の労働環境として気になることについて質問する。 (１) ブラインドは電動部品等の故障の場合に取り外して修繕と清掃を行うということだったが実際はどうなのか。 (２) ファンは平成 30 年度の本庁舎の総合管理委託の中で清掃を行う予定と答えていたが、行ったのか。 (３) 職員の寒さ対策についてとともに暑さ対策についてはどう考えているのか。本庁舎 1 階での日直業務は冷暖房が稼働していない環境下で行われている。年末の寒さに耐えることも過酷だが、夏の暑さによる熱中症の危険と隣り合わせの一人体制での業務は大変過酷で不安な業務と考えるが。	町 長
11 10 番 渡辺 順子議員 (80 分) 13:50 ～ 15:10	1. 大磯町まちづくり基本計画の策定について (１) まちづくり基本計画はまちづくり条例に則って行っているか。 まちづくり条例第 6 条第 3 項では、基本計画においては(１)全体構想(２)地域別構想を定めるとしている。しかし今回町が出した素案は全体構想のみである。なぜ素案に地域別構想が含まれていないのか。これでは条例に則って行っていると言い難い。また、策定手続きを定めている条例第 7 条第 2 項にも則っていないのではないか。 (２) 現在大磯駅周辺安全安心・賑わい創出事業の修正が同時進行している。修正案とまちづくり基本計画とのかかわりはどうなるのか。 (３) 現在の計画 2 章の 5 自治のまちづくりの方針が削除されたのはなぜか。 (４) コロナ禍の中での基本計画の策定になったが、アフターコロナの社会の変化に合わせた計画推進の優先順位の考えはどうか。	町 長

	2. 自治基本条例の改正で目指すところは何か 広報8月号で町が自治基本条例の見直しを行うことを知った。 現在町では前回の見直しの結果、平成29年6月1日から大磯町自治基本条例町民委員会の答申を受けて定めた町の基本方針に沿って条例を運用し、実績を積み上げていると認識している。これまでの運用実績はどのようなであったか。今回の見直しで目指すところは何か。今後の大磯町の自治は発展的に進むと考えていいのか。 3. 町の今後の環境政策について コロナと共存しながら経済と生活を立て直していく際に、元の経済や生活に戻るのではなく、地球温暖化や数ある社会的課題にも対応できる、「グリーン・リカバリー」と呼ばれる経済復興策が、世界中で広がっている。これは、地球温暖化対策の国際協定である「パリ協定」や、国連のSDGsの達成にも一致した形で、「より良い持続可能な社会」を創り、コロナ禍からの復興を目指していこう、というものである。町もこの視点で今後の環境政策を進めてはどうかと考え以下の3点について問う。 (1) 可燃ごみの戸別収集と有料化を検討するとのことだがその理由と費用対効果をどう考えているか。 (2) 昨年9月議会の一般質問において、レジ袋でのプラスチック類の収集を止めてはどうかと提案した際、平塚・二宮・大磯の1市2町の広域化の中で話題提供するとの答弁があった。その後どうなっているか。 (3) 公共施設の電力調達に環境配慮型の入札を積極的に進めてはどうか。今年度の入札結果はどうであったか。	町 長
12 15 番 柴崎 茂議員 (80 分) 15:30 ~ 16:50	1. 大磯町は真実住むに値する町か 歴史はときどき断裂すると言われる。明治維新や第二次大戦の終結が日本にとってのそれだ。後世から見れば、今の新型コロナウイルス禍もそれに当たるかもしれない。静々と昨年12月ぐらいから始まった今回の感染症下で3月～6月議会と経過し9月議会になってやっとこの本質の状態が見えるようになった気がする。今度の件は、まさに地球規模のエポックメイキングな事態である。しかし、この国の問題としては40、50年も前から人口減少（少子化と高齢化）は叫ばれていた。実に歴代政権はこの事に何もしてこなかった。そしてついにこの事による、何もしてこなかった不作為の付けを全国民が支払う時が来た。人口減少の中の住宅取得は、まさに昔経験した幼稚園のイス取りゲームの逆、すなわち常にイスが余っている状態と同じだ。日本中のどこかの一番自身の気に入った所を終の住処として求めればよいのだ。それも何も急ぐ必要も無くだ。そこでお尋ねする。 (1) 住宅被害を悩ませる小動物をどのように駆除するか。 (2) 小・中学校への通学路の安全をどう守るか。 ① 色あせた横断歩道の修復をしない。 ② 押しボタン式の信号機の感応速度を6月17日にお願いしたにもかかわらず、いつまでも変えない。日原修大磯警察署長や高橋洋交通課長は何をしているのか。	町 長 教育長

	町行政のトップとして子供の交通の安全を積極的に取り組まない警察官を放置するのか。 (3) 他市町村の義務教育に比べ、本町の義務教育関係者の生徒に対する差別行為を見逃すのか。 (4) 財政的見地からごみ処理行政は、全町民の満足するものと言えるか。現在の町指定ごみ袋の販売に問題はないか。	
13 1 番 鈴木 京子議員 (80 分) 17:10 ~ 18:30	1. 町長の考える町民の悲願とは何か 6 月定例会の町長車運行に係るある議員の一般質問への答弁は、私が何度か行った一般質問の答弁より真実性を感じた。不整合の部分について、所感を問う。 町民にはさまざまな要望や願いがあるが、町長の考える町民の悲願とは何か。また、町長の行動や悲願実現のための予算の優先順位等を決めるといふ政策会議の内容を情報公開したが、意思決定の過程は見えてこない。改善の考えはないか。 2. 新型コロナウイルス感染症拡大防止策について 収束が見えない中で、以下の対策が必要と考える。町長の所見を問う。 (1) 安心して働くためのPCR検査の拡大。 (2) 消毒等による教育現場の負担増の改善に対する予算計上。 (3) 受診抑制による重篤化の回避。 (4) インフルエンザ予防接種の推奨。 3. 中学校給食について 国府中学校の建設場所決定のポイントは何か。給食実施までの間、家庭の負担軽減や牛乳給食が必要と考えるが、どうか。 4. 新庁舎建設の設計委託は時期尚早ではないか 9 月の第 2 回大磯町新庁舎整備基本構想等検討委員会でプロポーザルの内容を決め公募に移るのは時期尚早と考えるが、所見を問う。 5. 職員の流出による町組織の脆弱化について ここ 8 年間の中途退職者の経験年数と数はどうなっているか。中途退職により、組織が成り立たない状況が間近に迫っているのではないかと所見を問う。働きやすい職場環境に改善する等、流出を止め、持続可能な組織にする策について問う。	町 長 町 長 教育長 町 長 教育長 町 長 町 長

13 名 30 問

時間は、事情により変更になる場合がありますのでご了承ください。